

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（個人））

平成24年にむかわ町に移住し、町の有害鳥獣駆除委嘱ハンターを務めながら、平成27年に「むかわのジビエ」を開業。委嘱ハンターを続けながら、自ら捕獲したエゾシカのほか、猟友会ハンターが捕獲したエゾシカの食肉処理加工を実施。加えて、地元農業者による捕獲作業のサポートや加工したエゾシカをふるさと納税返礼品とするなど地域に貢献。

もとかわ

本川

あきよ

哲代

ゆうふつ

北海道勇払郡むかわ町

主な取組

- 町の委嘱ハンターとして有害捕獲に携わりながら、地元猟友会のハンターが捕獲したエゾシカの食肉処理加工を実施。処理したエゾシカは食肉用や、ペットフードを販売しているほか、ジビエ加工食品の開発・販売にも取り組んでいる。
- 地元農業者が設置したわなによる捕獲にも積極的に協力し、コミュニケーションを深めることで、捕獲数の増加と被害防止に取り組んでいる。
- 最低限のナイフの使用で剥皮時の傷も少なく、品質の良い鹿革を生産し、施設に搬入されたエゾシカ皮を100%利用。
- 地域のお祭りや町外のイベントへの出展や産地直売所での加工品の販売、SNS等によるジビエの魅力を発信。また、講演や視察の受入れによるエゾシカの交通事故問題やアニマルウェルフェアについて市民に考える機会を提供、飲食店や大学との連携を通じたシカ肉の特性や調理方法の紹介による食育活動など普及啓発に貢献。

【エゾシカの利活用頭数（むかわ町）】

83頭（平成29年度）→291頭（令和5年度）